



# つながる地域 つなぐて・と・て part 1

かつて一戸では当たり前だった活気ある地域づくり、誰もが自然に手を差し伸べ支え合い助け合える地域づくり…そんな光景を再び一戸に取り戻したい！！社会福祉協議会は、住民が手と手を取り合い支え合う地域づくりの実現を目指しています。このページでは町内の住民主体による地域活動によって、地域が元気になる様々な「つながり」が生まれていく様子を毎号シリーズで紹介していきます。

使う人によって色んな形に  
姿を変える地域の「居場所」



「自然が好き、人が好き、何かをクリエイトする（創り出す）ことが好き、これらすべてを結び付けた活動がしたかった。」奥中山にお住いの戸田清志さん、睦子さんご夫婦（表紙掲載）は、今年4月、奥中山の中心部、駅前通りに、2人の夢と思いがたくさん詰まった雑貨店兼カフェ「気まぐれ工房めぐめ亭」をオープンしました。誰もがいつでも自由に出入りでき、たくさんの人と触れ合える場所です。



オープンから2ヶ月余り。お店には色んな方がやってきました。シルバークーを押しながらかおほかない足取りの高齢女性、小さな子どもを連れたパパさんママさん、病気をきっかけに引きこもりがちだった女の子、ちょっと世間話にと立ち寄る男性…。



カイトプラクティックや陶芸、機織り、おしゃべりに没頭する大人と、賑やかにはしゃぐ子ども。訪れた人がその人らしく思い思いの時間を過ごす。そこに大人も子どもも共に助け合う空間がつくりあげられていました。少子高齢化、核家族化、機械化された生活、そんな現代社会で見失いがちな人の心の温かさ、気づかれます。



「店に立ちながら、地域住民に声をかけたりお客さんの話に耳を傾けたり、それが私にもできる助け合い活動につながればいいな」と睦子さんは話します。

四季折々の自然と人々のふれあい…  
すべてが大切な宝物です。

ともに町外出身である戸田さんご夫婦。縁あって奥中山に移り住み、豊かな自然と地域の人々の温かさに触れ、奥中山が大好きになりました。「どの地域にもその地域ならではの慣習があり、良さがある。その良さを活かした域づくりが必要ではないか。」と話すのは清志さん。

町場でも山間部でも、その地域にある生活スタイル、近所付き合い、環境、土地柄、すべてが地域づくりには欠かせない宝物です。

みなさんも自分の地域の魅力を再発見してみませんか？そこに元気な地域づくりのヒントが隠されているかもしれません。

# できごととFLASH



## 孫世代へ向けた 認知症講座

「認知症」という病気をご存知でしょうか？「認知症＝脳の病気」ということまでは知っていても、相談の方法、対応の仕方など知らないこともいっぱいですよ。5月16日一戸高校、6月21日奥中山小学校にて「孫世代への認知症講座」と題しまして一戸町包括支援センターが主体となり、町内介護支援専門員が集まり認知症の劇を行いました。短い時間の劇の中に、認知症の症状や様子、接し方や相談方法などが盛り込まれていました。いろいろな質問、意見も出してくださいありがとうございました。いろいろな質問、意見も出してくださいありがとうございました。いろいろな質問、意見も出してくださいありがとうございました。いろいろな質問、意見も出してくださいありがとうございました。

「オレンジ」は柿色。温かなオレンジ色は認知症の人を手助けしますという意味があるそうです。



## 「交通安全モデル事業」の 指定を受けました

平成31年4月5日二戸警察署より「交通安全モデル事業」（全座席シートベルト着用・早め点灯モデル事業所）を当協議会で指定を受けました。

交通安全：皆さんは「3S運動」を行っていますか？「Stop（止まる）」「See（見る）」「Stay（待つ）」これは、歩行者のみなさん、ドライバーの皆さんに当てはまると思います。慌てないように時間に余裕をもって移動できるように心がけましょう。

## 家族介護者交流会

7月9日、今年度3回目となる、「家族介護者交流会（一戸町包括支援センター主催）」にお邪魔しました。

今回は「手作りおやつ（きんかもちづくり）」。一人では作らない、昔は作ったけどと集まった方も確認し四苦八苦しながらも笑顔がこぼれていました。身近な方の介護の不安は続くと思います。ひと時、介護も不安も忘れる時間を作ってみてはどうでしょうか？

詳細は、社協のお知らせ（P7）を参考にしてください。



いつまでもお元気で

## 長寿祝い贈呈

特別養護老人ホーム白梅荘に入居されている小野寺ハル工様は4月10日に100歳の誕生日を迎えられ、翌日11日に同施設を田中辰也一戸町長、林野栄五郎社会福祉協議会会長らが訪れ花束や記念品を贈り、家族、関係者らと共に誕生日を祝いました。

春日川サト様は、4月20日に102歳の誕生日を迎えられました。4月23日には入居している一戸町有料老人ホームナーシングあいあいを田中辰也一戸町長、林野栄五郎社会福祉協議会会長らが訪れ記念品や花束を贈り、誕生日を家族らと共に祝いました。



小野寺ハル工様(100歳)



春日川サト様(102歳)

# 社協からののお知らせ



## 一戸町家族介護者交流会

地域包括支援センターでは、介護をされている方を対象に家族介護者教室を開催しています。介護に関する悩みや疑問が軽くなるような時間を過ごしてみませんか。創作活動や調理実習などを開催します。

時間：午前10時～正午（月1回、火曜日に実施）

場所：一戸町総合保健福祉センター 検診室

参加料：お茶代として100円

問合せ：保健福祉センター内 地域包括支援センター

TEL：0195-32-3700



## くらしの相談窓口出張相談会

「就職しても長く続かない。」「生活費に困り、家賃が払えない」「人とのコミュニケーションが苦手だ」などくらしのさまざまな悩みを相談してみませんか？相談は無料です。

日時：令和元年9月27日（金）午前10時から正午まで

場所：一戸町総合保健福祉センター

問合せ先：二戸市社会福祉協議会くらしの相談窓口

TEL：0195-43-3588（予約は不要ですが、事前に連絡することも可能です。秘密は厳守します。）



## 断酒会員によるアルコール相談

アルコール問題に関わる困りごとや不安について、断酒会員にお話をしてみませんか？相談場所や日時等は、相談者のご希望に合わせた対応も可能です。

相談日時：原則毎月第3木曜日・14時～15時半

会場：県央保健所

相談員：岩手啄木断酒会 関村敬氏

連絡先：県央保健所保健課（TEL：019-629-6574）または一戸町社会福祉協議会（TEL：33-3385）まで

（断酒会とは：お酒の悩みを持つ方々が、自身の体験を語り合い、互いに理解し合い、支え合うことによって問題を解決する組織です。）



## 介護・福祉のおしごとと定期相談会

介護・福祉のお仕事について興味のある方、介護に関する資格取得についての相談、施設の見学等の相談会をおこなっています。

ハローワーク二戸会場：第1～3火曜日

時間：13時半～15時半

一戸町コミュニティセンター会場：10月8日（火）10時半～11時半

申込先：岩手県社会福祉協議会岩手県福祉人材センター

県北担当：城内

TEL：080-1651-6203（相談日に都合がつかない場合はご連絡ください。お子様をお連れになつての相談も可能です。）

# 各種相談日程表

	法律相談	多重債務相談	くらしの相談窓口	ふれあい相談
開催日	8月13日(火) 8月27日(火)	8月20日(火)	月曜日～金曜日 (土日祝祭日・ 年末年始休み)	月曜日～金曜日 (土日祝祭日・ 年末年始休み)
	9月10日(火) 9月24日(火)	9月17日(火)		
	10月8日(火) 10月21日(月)	10月15日(火)		
	11月12日(火) 11月26日(火)	11月19日(火)		
時間	10:00～15:00	10:00～15:00	8:30～17:15	8:30～17:15
場所	二戸消費生活センター (二戸合同庁舎内) TEL 23-5800 ※要予約		二戸市総合福祉 センター TEL 43-3588	一戸町社会福祉協議会 (一戸町総合保健福祉 センター内) TEL 33-3385

## 寄付御礼



一戸町社会福祉協議会への寄付  
(平成31年4月1日～令和元年6月30日取扱い分)

坂本 雄偉 様 (ご香典返し) 金一封也

坂本様からのご寄付は、ご遺族様からの意向により町の社会福祉発展のためご香典返しとしてご寄付頂きました。頂きましたご寄付につきましては町の社会福祉事業推進のため使用させていただきます。



## 編集後記

社協だよりゆいっこ、リニューアルしました。これまで以上に社協の活動を分かりやすく伝え、1つでも多く住民のみなさんの地域を元気にする取り組みをお届けしたいと思っています。

今年度の広報は、小野寺が担当します。「ゆいっこ」の名のとおり、住民と地域と社協とを結ぶ広報誌となれるよう、1ページ1ページ職員全員の手で作りに上げていきますので、1年間よろしくお祈りします。

## 災害義援金募集のお知らせ



社会福祉協議会では、被災された方々を支援するための義援金を次の通り受付しております。頂いた義援金は岩手県共同募金会や日本赤十字社岩手県支部を通じて全額被災地の方々へ届けられます。皆様のご協力をよろしくお祈りいたします。

平成30年北海道胆振東部地震災害義援金

(受付期間：令和元年9月30日まで)

東日本大震災義援金

(受付期間：令和2年3月31日まで)

平成28年熊本地震義援金

(受付期間：令和2年3月31日まで)

平成30年7月豪雨災害義援金

(受付期間：令和2年6月30日まで)

各種災害義援金については一戸町社会福祉協議会  
(TEL 33-3385) までお問い合わせください。

## 表紙の紹介

奥中山にお住いの戸田清志さんと、妻睦子さん。人との触れ合いを大切にされた地域づくりを目指し奮闘中。優しい笑顔が魅力的なご夫婦です。(参考P5)



## 社会福祉法人一戸町社会福祉協議会

〒028-5321 一戸町一戸字砂森93-2 (一戸町総合保健福祉センター内)  
TEL 0195-33-3385 / FAX 0195-33-2737  
ホームページ <http://ichinohe-shakyo.jp/>

